

新型コロナウイルスワクチンの接種について

接種費用
無料
(全額公費)



国・県が定めた接種順位に従い、高齢者の方から段階的にワクチン接種を進めています。当町への国から供給されるファイザー社のワクチンは、高齢者の方全員が接種を受けられるよう、5月中旬以降、ワクチンが順次供給される見込みです。

今後、国のワクチン供給量に応じて、高齢の方から順次接種券を発送しますので、接種券が届きましたら、接種を希望される方は、同封するお知らせ等をお読みになり、予約をお願いします。

接種券の発送状況は、町公式ホームページ、情報メール一斉配信サービス、利根町行政アプリでお知らせします。

ワクチン接種を受けるまでの流れ

① 町から「接種券」および「予診票」が、対象者宛てに住所地に郵送されます。

【同封されてくるもの】

- 「接種券」
- ※2回分の「接種券」・「予防接種済証」が1枚になっていきます。
- 「予診票(2枚)」
- ※2回分まとめて送付しますのでなくさないように注意してください。
- 利根町新型コロナウイルス接種のお知らせ
- 新型コロナウイルス予防接種についての説明書(ファイザー社製)
- 新型コロナウイルス接種を受けるまでの流れ、インターネット予約のご案内

② 「接種券」が届きましたら、電話またはWEBにて、予約を入れてください。

● 接種可能な医療機関/会場と予約方法は、同封の「利根町新型コロナウイルス接種のお知らせ」をご覧ください。

※予約は、接種希望日の5日前までに、キャンセル・変更は、前日までお願いいたします。(コールセンターでのキャンセル・変更は、前日が土・日曜日、祝日のときは、直前の平日)

※当日のキャンセル・変更は、必ずご連絡ください。(平日・コールセンター/土・日曜日、祝日・予約した医療機関)

● 予約する時は、接種券に記載された「接種券番号」が必要になります。

※WEB予約する方は、ご自分のメールアドレスも必要になります。

● 1回目接種の予約時に、2回目接種の予約もしてください。

※ワクチン(ファイザー社製)は、3週間後の同じ曜日に2回目を接種することになります。できない場合は、できるだけ早く2回目の接種を予約してください。

③ 接種当日に持参するもの

- 「接種券」、「予診票(1枚)」、「本人確認書類(健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなど)」、「お薬手帳」を持参してください。
- 「接種券」は、2回とも、予診票に貼り付けたり、切り離したりせずに、そのままお持ちください。

返していくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるといわけではありません。

Q3 ワクチン接種を受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬を飲んでもよいですか。

A 市販の解熱鎮痛薬で対応していただくことも考えられますが、特に次のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

- ・他の薬を内服している場合や、病気療養中の場合
- ・激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合
- ・ワクチン接種後としては典型的でない症状がみられる場合

Q4 アナフィラキシーではどのような症状が出ますか。治療法はありますか。

A 薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。じんましんなどの皮膚疾患、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合を、アナフィラキシーショックと呼びます。薬の注射などで治療します。

Q5 ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染することはありますか。

A ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。また、ワクチンを接種して免疫がつくまでに1〜2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。

ください。

● 「予診票」は、接種会場での混雑回避のため事前に記入して、当日お持ちください。

※予診票の右上の「クーポン貼付」欄には、何も貼らないでください。

● 予診票の記入要領

- ・住所、氏名(フリガナ)、電話番号、生年月日(西暦)、体温等を記入する。
- ・質問事項の回答欄の「はい」「いいえ」のどちらかに「チェック」を記入する。

※新型コロナウイルスは、上腕への筋肉内注射となります。当日は、肩を出しやすい服装でお越しください。



④ 医療機関等での接種の流れ

- ① 受付 検温、接種券と予診票の提出、本人確認書類による本人確認
- ② 予診票確認 記入内容を確認
- ③ 予診 予診票により問診を行い、予防接種の可否の判断をする
- ④ ワクチン接種 新型コロナウイルスワクチン接種
- ⑤ 接種済証交付 接種したワクチンの接種済証を交付
- ⑥ 待機 接種後、接種会場で15分から30分経過観察

Q6 ワクチンを接種することができないのはどのような人ですか。

A ワクチンを接種することができないのは次のような方です。ご自身が当てはまると思われる方は、かかりつけ医にご相談ください。

- ・明らかに発熱している方
- ・重い急性疾患にかかっている方
- ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- ・右記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある方

Q7 薬を飲んでいる人はワクチンを接種することはできますか。

A 薬を飲んでいられるために、ワクチンが接種できないということはありませんが、かかっている病気によっては、接種を慎重に検討した方がよい場合がありますので、かかりつけ医とご相談ください。

Q8 「基礎疾患に該当する者」に当てはまることを証明するために、診断書は必要ですか。

A 診断書は必要ありません。予診票に記載していただき、必要があるときは、問診で病気や治療の状況などを確認します。

● 新型コロナウイルスに関するよくある質問(利根町版)はコチラ



▼問い合わせ先

利根町保健福祉センター ☎68・8291

●ワクチン接種に関する相談 利根コロナワクチンコールセンター
☎050-3612-4574 受付時間:午前9時~午後5時(平日のみ)

新型コロナウイルスQ&A

Q1 持病の有無によって、ワクチンの効果や副作用に違いはありますか。

A 今回のワクチンは、基礎疾患を持っている方に対しても高い効果があることが分かっています。過去に重いアレルギー症状を経験されたことがある方は、接種会場で30分間様子を見るのが大切です。

Q2 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか。

A 一般論として、ウイルスは絶えず変異を繰り返す。